

## 茨木から矢をはなつ!

● 矢島ひでかずプロフィール ●  
 昭和55(1980)年10月13日生まれ。両親はともに聴覚障がい(ろう)者。追手門学院大学卒業、同大学院修了。衆議院議員秘書、追手門学院職員を経て、現在は私立幼稚園・小学校の課外活動でロボットプログラミング講師を務める傍ら、市内各種団体に所属し、茨木のまちづくりに携わる。



やじま 令和6(2024)年12月  
**矢島ひでかず**  
 通信 第23号

編集・発行人 矢島ひでかず  
 [事務所] 〒567-0817 茨木市別院町4-1-704  
 [自宅] 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ1-2-18-701  
 ☎090-3928-6958 ✉info@yajima-hidekazu.com  
 ウェブサイト <http://yajima-hidekazu.com>  
 フェイスブック <https://www.facebook.com/yajima.hidekazu>



## (1) 重点政策6本の矢

### ➤茨木の教育から矢をはなつ!

大学コンソーシアムによるリカレント(学び直し)教育の推進  
 ICT(情報通信技術)教育拡充で不登校児童を積極的に支援

### ➤茨木の福祉から矢をはなつ!

誰もが高齢者や障がい者になりえることを想定したまちづくり  
 JR茨木・阪急茨木市駅両駅前整備におけるバリアフリーの徹底

### ➤茨木の安全から矢をはなつ!

彩都をはじめ、人口増加校区の警察と連携した防犯・騒音対策  
 阪急茨木市駅・永代町交番前の信号のない横断歩道の安全確保

### ➤茨木の交通から矢をはなつ!

中心市街地の慢性的な交通渋滞の緩和および駅前駐輪場の整備

### ➤茨木の育児から矢をはなつ!

待機児童ゼロ実現で共働き世帯・ひとり親家庭の子育てを応援

### ➤茨木の医療から矢をはなつ!

コロナ禍で明らかとなった小児夜間・休日対応の救急病院開院



阪急茨木市駅南改札口側西出入口で、毎日欠かさずご挨拶に立っています。市政に対してのご意見ご提案ご要望、貴重なお声を是非お聞かせください。

## (2) 重点政策⑥医療編

小児救急医療の充実や救急病院の市内誘致を望む市民からの声はかねてより多数寄せられていましたが、記憶に新しい「新型コロナウイルス(COVID-19)」の感染拡大によって、小児夜間・休日にも対応した病院の誘致を望む声が増しに高まりました。そのような中、令和4(2022)年10月17日付けで阪急茨木市駅の東側に隣接する「茨木市双葉町駐輪場」(敷地面積約5,776㎡)を病院用地として、ようやく誘致病院の事業者候補者が「学校法人大阪医科薬科大学」(高槻市)に決定しました。来年10月頃に埋蔵文化財等の調査が開始され、令和8(2026)年度以降になって建設着手、令和11(2029)年度中の開院を目指しています。私が重点政策に掲げているのは、誘致決定がゴールではなく、早期開院と、さらなる医療体制の充実を求めたいとの思いに他なりません。現駐輪場の代替地についても、同駅西側の駅前再開発と併せて、注視してまいります。

### ●重点政策全6編コラム予告●

7月号 重点政策①「教育編」

8月号 重点政策②「福祉編」

9月号 重点政策③「安全編」

10月号 重点政策④「交通編」

11月号 重点政策⑤「育児編」

12月号 重点政策⑥「医療編」

### (3) 政治を志した原点

私の両親はともに耳の聞こえない聴覚障がい者です。字幕のない時代、物心ついた頃から両親の耳代わりとなっていたTVや外出先の手話通訳。私の役割は、周囲の声を両親に送り届けることでした。

こうした家庭環境に生まれ育ち、社会に育てていただいたという感謝の思いから、周囲に対して手を差し伸べることを学びました。

一方、私の子ども時代は、聴覚障がい者に対する理解が今日ほど進んでおらず、誤解に基づいた差別や偏見に傷つけられることも。

それでも、臆することなく、手話の普及やろうあ運動に奔走する親の背中が誇らしく、コーダ(Children of Deaf Adults=両親の一人以上が聴覚障がいを持つ、聴こえる人)としての自らの使命を考える中で、社会に育てられた恩返しとして、人生を社会に捧げることを決意。少数者であるがゆえに、行政に反映されにくい方々の声なき声を届けるために市政へ…。これが政治を志した原点です。



#### 矢島 秀和 (やじま ひでかず) プロフィール

⇒ 昭和 55 (1980) 年 10 月 両親ともに耳の聞こえない家庭に生まれ育つ。(現在 44 歳)

##### ■ 学歴

⇒ 平成 15 (2003) 年 3 月 追手門学院大学 文学部 卒業

⇒ 平成 18 (2006) 年 3 月 追手門学院大学大学院 文学研究科 修了

##### ■ 職歴

⇒ 平成 18 (2006) 年 4 月 衆議院議員大塚高司 秘書

⇒ 平成 23 (2011) 年 4 月 学校法人追手門学院 職員

⇒ **平成 29 (2017) 年 1 月 茨木市議会議員一般選挙 初挑戦 (1,237 票)**

⇒ 平成 29 (2017) 年 4 月 子ども向けロボットプログラミング教室プログラボ茨木 室長

⇒ **令和 3 (2021) 年 1 月 茨木市議会議員一般選挙 再挑戦 (1,319 票)**

⇒ 令和 3 (2021) 年 12 月 追手門学院小学校放課後活動ロボットプログラミング 講師 (現在)

⇒ 令和 5 (2023) 年 4 月 追手門学院幼稚園課外教室プログラミングラボ 講師 (現在)

##### ■ 所属

⇒ 茨木から矢をはなつ会 代表

⇒ 茨木JCシニアクラブ 会員

⇒ 茨木市相撲連盟 事務局次長

⇒ 茨木市倫理法人会 幹事

⇒ いばらき竹灯籠実行委員会 委員

⇒ 茨木フェスティバル実行委員会 学生顧問

⇒ 自衛隊茨木協力会 会員

⇒ 追手門学院大学校友会 理事・広報副委員長

⇒ 異業種交流会茨Oh! 会員

⇒ 茨木市観光協会 会員

⇒ 茨木じゃがいもゴルフクラブ 会員

⇒ 茨木青年会議所 賛助会員

⇒ いばらき絆餐会 会員

⇒ 茨木ライオンズクラブ 社会奉仕委員長

⇒ BLUEPALETTE実行委員会 委員

⇒ 大阪防衛協会青年部会 会員 ほか